

## 議事録

日 時	令和4年8月2日 (火)	時 間	13:30～15:30
場 所	千葉県企業局 幕張庁舎2階 特別会議室 (web 会議併用)	出席者	(懇話会メンバー) 鎌田座長、小松崎副座長) 外13名 (企業局) 山口局長、山口管理部長、岩船水道部長、渡辺水道部次長、密本水道部次長、望月計画課長、小林浄水課長、佐藤給水課長、その他職員、事務局職員
議事名	第3回おいしい水懇話会		
<p>○開会</p> <p>○懇話会の公開について</p> <p>○配布資料の確認</p> <p>○懇話会メンバー、局職員紹介</p> <p>○局長挨拶</p> <p>○座長挨拶</p> <p>○議題1 技術的な取組</p> <p>資料(p3-5)により、プロジェクトの水質目標と残留塩素の低減化について事務局から説明。主な意見、質疑は以下のとおり。</p> <p>(懇話会メンバー) 残留塩素低減化試験で、残留塩素濃度の低い箇所について水の流れを変えたということだが、具体的にどのようなことをしたのか。</p> <p>(企業局) 今回残留塩素濃度が低くなった箇所は2つの配水系統の境で行き止まりとなっていたため、水が滞留し残留塩素が消費されやすくなっていた。そこで、配水系統の境を別の場所に移動させることによって、水の滞留が解消され残留塩素が回復した。</p> <p>(懇話会メンバー) 今回測定した地点が水が滞留している場所だったとのことだが、測定しているところと実際に給水しているところは違うのか。</p> <p>(企業局) 低減化試験に際して、実際の給水区域内で残留塩素が低くなると予想された箇所に連続測定装置を設置し測定してみたところ、やはり残留塩素が低い箇所があることがわかり、滞留防止策を取ることができたということである。</p> <p>(懇話会メンバー) 平均残留塩素濃度の推移について、各地点での残留塩素は色々異なると思うが、どのくらいの範囲に収まっているのか。</p> <p>(企業局) 平均残留塩素濃度は近年低減していないが、平準化は進んでいる。残留塩素が一番高い地点は0.65mg/Lであり、0.6mg/Lを超えている地点が約20%とだんだん減ってきてい</p>			

## 議事録

る。0.5mg/L 以下を達成している地点は約 15%で、高いところを少しずつ低減していくことで、残留塩素の低減を着実に進めていきたいと考えている。

(懇話会メンバー) これから残留塩素は下がりにくくなると思うので、平準化していることがわかる資料を示してもらえると成果が出ていることがわかってよい。

(懇話会メンバー) 平準化が進んでいるというのは同じ系列で平準化が進んでいるのか、それとも違う系列で平準化が進んでいるのか。

(企業局) 平準化は主に異なる系列間での話である。同じ系列だと残留塩素は浄水場から近いところが高く、遠いところが低くなるので、同じ系列での平準化は難しい。

(懇話会メンバー) 最夏期のデータ測定を9月の中旬に行っているが、水温がこの時期一番高く塩素が消費されるのか。

(企業局) 昨年度はオリンピック・パラリンピックの開催時期を避け、9月に測定した。水温は8月が一番高い時期になる。今年度は8月の試験実施を検討している。

### ○議題2 お客様との取組

資料(p6-11)により、水道出前講座及びおいしい水検定の実施報告について事務局から説明。

主な意見、質疑は以下のとおり。

(懇話会メンバー) せっかく水道出前講座を実施しているので、出前講座が終わった後においしい水検定の問題を解いてみると学んだことがより身につくと思った。

(企業局) 出前講座でどのくらい学習できたか気になるので問題を解いてもらいたいが、おいしい水検定の実施時期が限られていたので難しい面もあった。おいしい水検定は昨年度からの取組なので、これから色々方法を検討していきたい。

(懇話会メンバー) 前回の懇話会でおいしい水検定の URL を送ってもらったのでやってみたが、正直難しくてスマホ一つだと調べるサイトと行ったり来たりで結構時間がかかったので途中でやめてしまった。子どもとも一緒にやってみたが一般人からすると難しいと思った。例えば問題の中にヒントがあると、ちょっと難しくても頑張ろうと子どもは思うと感じた。

(企業局) ヒント集を作るなどの対策はいかがか。

(懇話会メンバー) そのようなヒントにすぐ飛べるものがあると、もうちょっと続けようとなるかと思った。また、今夏休みなので、時間があるときに親子でできるよう、景品がなくても短い問題があるとためになると思った。

(懇話会メンバー) おいしい水検定の受検者数が少ないということで、毎年夏休みに行われる水質検査体験に子どもと参加しているが、水質検査体験の案内と一緒に、おいしい水検定の案内があると、出前講座とはまた別の知る機会につながると思った。

(企業局) 水質検査体験を実施した方にグッズを送るタイミングがあるので、おいしい水検定の募集記事も一緒に入れたいと思う。

(懇話会メンバー) 表 2-2-7 を見ると県水だよりの影響が大きいと思ったし、知人や家族からの口コミが少なかったため、次はぜひ懇話会メンバーのご家族にやってもらえればもう少し

## 議事録

し増えるのではと思ったので、いろいろ工夫してもらって、次回は増えましたという報告ができればいいと思った。

資料(p12-14)により、ホームページ・広報紙等による PR（オフィシャルサイト、ちいき新聞、Twitter）について事務局から説明。

主な意見、質疑は以下のとおり。

（懇話会メンバー）9 ページのおいしい水検定の問題に、仮に天ぷら油を 500mL 流した時に魚が住めるくらいの水質にするために必要な水の量は浴槽 500 杯とあるが、そのようなたっさんの水は先ほどの動画でどの工程に必要なのか。

（企業局）これは浄水処理工程に必要なものではなく、天ぷら油を流しに捨てた場合、その水を魚が住めるくらい無害な水にするために、浴槽 500 杯も水の希釈をしなければならないという環境保全に関する問題である。

（懇話会メンバー）動画でポタリちゃんの音声がロボット音声だったが、これは今時なのか。時々アクセントの違和感が引かかった。私の時は子どもに紙芝居や絵本の読み聞かせをするイメージだが、子どもたちがどう思うかはわからないが、自然な日本語の方がいいと思い、とても気になってしまった。

（企業局）アクセントについては、無料の音声ソフトを使用したため、出来ることに制限があった。なるべく自然に近づけるようにしたが、どうしても厳しいところがあった。今回聞きにくいと感じる方がいるということがわかったので、よりよい形を検討していきたいと思う。

（懇話会メンバー）Twitter について、私もフォローしているが、フォロワーがあまり伸びていない。2017 年から始まってまだ 692 人しかフォロワーがいなくて、これだけのことを頑張ってもフォロワーが少ないもったいないと思う。フォロワー数が少ないのに Twitter にこだわる理由は何かあるのか。

（企業局）Twitter にこだわっているわけではないが、面白い企画を出せばフォロワー数も増えると思うので、どういうものを作ったら見てもらえるかという意見をもらえるとありがたい。

（懇話会メンバー）小学生に見てもらいたいのであれば、あまり子どもは Twitter をしないので、Youtube のショートで流してみてもらうのはどうか。今ググるというより Youtube で検索する時代なので、その方が子どもたちにとって身近なものになると思う。

（企業局）どのようなアプローチがいいか検討していきたい。

（懇話会メンバー）動画を見ていて Youtube にあげた方が閲覧数が増えると思ったので、ちばコレ channel よりも、Youtube チャンネルアカウントを開設した方がよいと思った。

（企業局）ちばコレ channel を介さないと動画を見るができないという状況が、アクセスしにくいと感じているので検討したい。

## 議事録

全体を通しての意見、質疑は以下のとおり。

(懇話会メンバー) 先ほどポタリちゃんの大冒険のおいしい水づくり編の動画を見させてもらったが、おいしい水づくりオフィシャルサイトにはヒミツ編とルーツ編もあるが、これらはまだ動画にはしていないのか。

(企業局) 現在作成を進めているところである。

(懇話会メンバー) 先ほどとても苦勞して作成していることが良くわかったが、この2つについてもぜひ動画を作ってもらいたいと思った。

(懇話会メンバー) Twitter の位置づけで、ユーザー名がポタリちゃんとなっているが、登録者が増えて、それが県営水道のことにつながるのかどうかと思ったのと、この Twitter をベシクな情報を広めることに位置付けるのか、もしくは例えば漏水などリアルタイムで起きている情報を共有するような使い方もあると思った。その方がユーザーと情報共有出来て広まるのではと思ったのでご検討いただければと思った。また、ちばコレ channel を見ると、過去にも動画を作成していて、その動画もよくできていると思ったが、ちばコレ channel からしかたどり着けないのはもったいないと思ったので、今あるサイトからたどり着ければいいと思った。

(懇話会メンバー) 別の事業体で漏水などの情報を SNS で検索して集めると聞いたことがあるので、位置づけ次第だがいろいろ活用できると思うので検討いただきたい。

(懇話会メンバー) 残留塩素の低減化について、15%の地点で残留塩素が 0.5mg/L 以下になったという話もあったが、4 ページの平均残留塩素推移を見ると、過去数年間 0.56mg/L 付近を推移しているように見える。0.56mg/L から下げていくための課題とこれから 0.5mg/L に下げていく方針について教えてほしい。

(企業局) 課題は、低減化試験をエリア毎に行っているため、全体としてみると数値としては見えにくくなること、また残留塩素は水温や原水水質によっても大きく変動してしまうため、成果が見えにくいことである。今年度低減化試験予定である柏井のエリアは、水質自動監視装置が設置されている数も多いことから、残留塩素の低減が可能であれば、効果がでると思っている。0.5mg/L に下げていく方針については、毎年低減化試験を実施して、着実に近づけていきたいと考えている。

(懇話会メンバー) Twitter について、写真で伝えたいのならば、Twitter よりも、Instagram のリールの方が見やすいと思った。あと流行りの TikTok の方が若い人や小学生はよく見ると思った。

(懇話会メンバー) 日本の水は世界で一番水道水がきれいと思うが、日本人が飲める水道がある国は他に他にあるのか。

(企業局) 国土交通省が作成している令和 3 年度の「日本の水資源の現況」によると、世界で水道水をそのまま飲める国は日本を含めて 12 カ国と発表されている。具体的には、日本の他に、アイスランド、アイルランド、オーストリア、オランダ、スウェーデン、セルビア、デンマーク、ニュージーランド、フィンランド、ノルウェー、モンテネグロである。実際は一つの国の中でも飲める地域と飲めない地域があるので、確実に飲めるとして公表されているも

## 議事録

のとしてはこのような状況である。

(懇話会メンバー) TikTokの話やインスタの話がでたが、若い人がやらないとなかなか難しいところがあるので、学生とコラボしてアピールしてみるのも面白いのかなと思った。

(懇話会メンバー) 私は硬水と軟水を使った研究をしており、世界の水道事情を調べると、イギリス、ドイツ、フランスは一部地域では飲めるが硬水で、日本の水道事情は世界と違うということが改めてわかった。それと、17ページの県外から引っ越してきた方の満足度のN数61というのはそれぞれ15年未満、10年未満でそれぞれ人数は違うのか。

(企業局) そのとおりである。

(懇話会メンバー) 今後少しデータを細かくまた見せてもらえるとありがたい。また、リーフレットのQRコードからオフィシャルサイトに入ってみたが、おいしい水検定が直接出てこない。おいしい水検定と検索すると出てくるので、おいしい水検定のページに直接入れるようなQRコードを付けたらどうかと思った。おいしい水検定の応募者は県水だよりをみて応募した方が9割近いので、やっぱり紙媒体だと改めて感じた。

(懇話会メンバー) 本日出た意見の中で出来ること、出来ないことそれぞれあると思うが、色々な可能性を検討してほしい。

(企業局) 承知した。

○局長挨拶

○連絡事項・閉会

以上